

株式会社中山製鋼所

大正 12 年木津川河口の埋立地に(株)中山悦治商店を設立。

昭和 9 年に(株)中山製鋼所に社名変更をした。現在も船町に本社と工場を有し、平成 14 年に高炉を休止した折の「大阪の火が消える」という新聞見出しも記憶に新しい。「微細粒熱延鋼板」により「大河内記念技術賞」を受賞したことは、鉄の未来を追い続ける姿勢の現われともいえる。

また、大正区内の最大の企業である。



『懐かしい大正区の風景』から転載

